

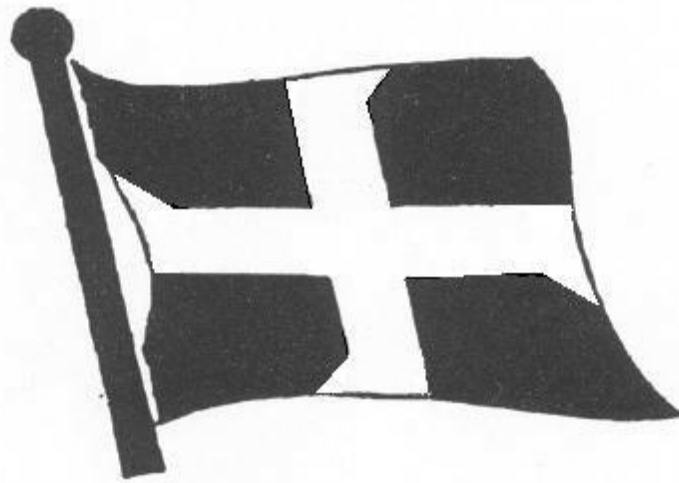
蒼穹 NEWS

蒼穹 NEWS

NO.5

東大戦展望号

平成 29 年 9 月 24 日発行



～目次～

- 1 主将挨拶、女子主将挨拶、監督挨拶
- 2 東大戦タイムテーブル
- 3 東大戦展望
- 4 近国結果
- 5 同志社戦結果
- 6 記録会等の結果

1. 主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶

主将挨拶

来たる9月30日に、東京大学陸上競技場にて東大戦が開催されます。ここまで対校戦では蒼穹会の皆さまのご期待に副えるような、満足できる結果を残すことができず、悔しさを感じ続けてきました。この東大戦こそは、4年ぶりの男女総合優勝を果たし、チームとしての結果を残したいと考えております。

男子は事前予想では優位であり、2011年の戦後最高得点である208点はもちろん、歴代最高得点である1935年の226.5点も視野に、僅差でここ3年間敗れ続けている鬱憤を晴らすような試合をお見せいたします。東大戦は例年、事前予想よりも接戦になる試合ではありますが、油断することなく戦い、圧倒的勝利を掴み取ってまいります。

女子は東大に柱となる大エースが多く、1位を取られると勝ち越せない4点制の試合であるため、簡単な試合ではありません。専門外の種目に取り組む選手も多いですが、男女どちらかが勝つのではなく、男女総合優勝でチームの全員が喜べる試合にしたいと思っております。

蒼穹会の皆様には是非とも駒場まで足を運んでいただき、いつもと変わらぬ熱きご声援のほど、何卒よろしくお願いたします。

京都大学陸上競技部主将 浅野 智司

女子主将挨拶

本年度の東大戦は9月30日、東京大学駒場グラウンドにて行われます。七大戦から2か月、目標達成できなかった悔しさを胸に、女子選手全員で練習に励んで参りました。今年は東京大学側に実力者が揃っており、厳しい戦いが予想されます。しかし、京大も一人一人が着実に力をつけてきており、ひとつひとつの種目で確実に点を積み重ね、勝利を掴みたいと考えています。当日は、最後のリレーにまでもつれこむ大接戦となると予想されますが、最後まで気を抜かず、全員で戦います。お忙しいところとは存じますが、蒼穹会の皆様方には是非とも競技場まで足を運んでいただき、激励、ご声援のほどよろしくお願致します。

京都大学陸上競技部女子主将 岸本 絵理

監督挨拶

来る 9 月 30 日（土）、東京大学駒場キャンパスにて東大戦が行われます。男女総合優勝を目指しての戦いとなります。

男子は今シーズン、それなりの結果は残しつつも掲げてきた目標を達成することができないままここまで来てしまいました。だからこそ、今回のこの東大戦では絶対に負けるわけにはいきません。そのことは選手たちもみな理解していますし、闘志を燃やしています。今年は、事前ランキングにおいては 40 点以上の差があり普通に戦えば確実に勝てます。もちろん慢心すれば点差など簡単にひっくり返るものですが、部員たちは慢心することなく全力で東大を倒してくれるはずです。

女子も今年は苦しいシーズンを送ってきており、今回も劣勢が予想されています。しかし、4 点制という一つのミスが勝敗を大きく左右する中で各個人がそれぞれの力を出し切り接戦に持ち込むことができれば、必ずや勝利をつかむことができるでしょう。

4 回生が中心となる最後の対校戦なので、最後は男女共に勝って笑顔で終わってもらいたいと思っています。蒼穹会の皆様方におかれましては、お忙しいこととは存じますが、是非とも会場に足を運んでいただきご声援を送っていただきますよう宜しくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部監督 紀平 直人

蒼穹会員の皆様

2015 年 9 月 14 日、部員の河野慧くんが病気のため逝去されました。彼は現 4 年生の同期として入部し、同じ目標に向う仲間として共に切磋琢磨しておりました。私たちは 4 年生の引退試合となる東大戦を、彼とともに戦い抜きたいと考えています。そこで今回、開会式にて黙祷、喪章の着用をもって彼への追悼の意を示させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

2. 東大戦タイムテーブル（9月30日（土） 駒場）

トラックの部				フィールドの部・跳躍			
競技時間	種目		種別	競技時間	種目		種別
9:30	開会式			10:00	男	走高跳	対校
10:00	男	400mH	対校		女	走高跳	OP
10:15	男	100m	対校	10:30	男	走幅跳	対校・OP
10:20	女	100m	対校		女	走幅跳	対校・OP
10:35	男	1500m	対校	13:30	男	棒高跳	対校
10:50	男	5000m	OP	14:00	男	三段跳	対校
11:50	男	400m	対校	フィールドの部・投擲			
12:00	女	800m	対校	10:00	男	ハンマー投	対校
12:05	女	800m	OP	11:30	男	円盤投	対校
12:15	男	4×100mR	対校	13:30	男	砲丸投	対校・OP
12:30	男	5000mW	対校・OP		女	砲丸投	対校・OP
13:10	女	400m	対校	14:30	男	やり投	対校
13:20	男	800m	対校				
13:25	男	800m	OP				
13:55	男	200m	対校				
14:00	男	200m	OP				
	女	200m	OP				
14:30	男	110mH	対校				
14:50	女	3000m	対校				
15:05	男	5000m	対校				
15:30	女	4×100mR	対校				
15:40	男	4×400mR	対校				
16:15	閉会式						

3. 東大戦展望

<短距離>

100m

澤 薫 (4) 10.64

庄司 溪 (4) 10.81

加藤 寿昂 (1) 10.93

事前ランキングだと1,3,5位。1,2,5位を狙いたい。

澤は七大会の頃に比べると少し調子を落としてはいりますが、それでも頭ひとつ抜けているのでしっかり勝ちきってほしい。

庄司は東大の一番手が調子を落とし気味なこともあり十分に二着を狙える。院試があり本人も練習が積めているとは言えないが、あと2週間できちんと調子を合わせて欲しい。

安藤の怪我の状態次第だが、現状では加藤が走る予定。東大の三番手に勝ってくるのが求められる。

200m

澤 薫 (4) 21.57
庄司 溪 (4) 21.99
安藤 滉一 (3) 21.59

200m はランキング 1~4 位の差がかなり詰まっている。

聲高がどの程度調子を戻しているか次第でもあるが、澤は落ち着いて走ってきて確実に 1 着を狙う。

変更の可能性も高いが庄司は 200m も走る予定。東大の 1,2 番手のどちらかには勝って 4 位には入って欲しい。

安藤は足の状態を見ながらになるが 200m は出場する予定。勝負所で順位を拾ってくる強さのある選手なので、競り合いを制して 2 着を狙ってほしい。

400m

小谷 哲 (2) 48.70
浅井 良 (1) 49.30
小原 幹太 (2) 49.37

400m には七大戦と同じく小谷、小原、浅井が出場する。目標はスコルク。信頼できる 3 人であり目標達成に向けて不安はないが、油断することなく確実に上位を独占したい。

小谷、小原は七大戦でベストを更新しており、自信をもって走ってほしい。

七大戦では納得のいく結果が出せなかった浅井も調子が上がってきており、ベストに迫る記録を期待したい。

4×100mR

澤 薫 (4)

庄司 溪 (4)
珍坂 涼太 (4)
安藤 滉一 (3)
岡本 和也 (3)
小野 貴裕 (2)
加藤 寿昂 (1)

加藤-安藤-庄司-澤のオーダーを予定。七大と同じメンバーで望む。きちんとバトンを繋げばまず勝てるので、落ち着いてレースを運んでしっかり勝ってきたい。

4×400mR

眞杉 陸 (4)
神先 宏樹 (3)
小原 幹太 (2)
小谷 哲 (2)
水野 廉也 (2)
田中 智也 (2)
浅井 良 (1)

オーダーは小谷-浅井-安藤-小原。400m ランキングトップの小谷で確実に先行し、安定した試合運びをしたい。東大は短短やハードルからメンバーを引っ張ってくることが考えられるが、全体として東大を圧倒するレースをし、東大戦を勝ちで締めくくりたい。



400m、マイルリレーに出場する浅井（手前）と小原（奥）。短長の練習への取り組みは非常に熱心だ。東大戦ではその成果を見られるはずだ。

女子 100m

川崎 仁美 (4) 13.20
小野 萌子 (3) 13.03

東大の1番手とは少し力量差があるが、川崎は1着、小野は2着を狙っていく。1着を取れるに越したことはないが、とにかく2,3着を確実に取ってきて負け越さないことが大切になる。

女子 400m

小野 萌子 (3) 59.92
後藤 加奈 (2) 60.86

女子 400m には小野、後藤が出場する。この種目が勝負を決めるカギになるだろう。何としてでも2,3位をとりたい。

小野は、七大戦や近国では予決ありの多項目出場であったが、久しぶりに400mに

しっかり集中できることもあり、思い切って走ってきてほしい。

後藤は、七大戦で大学ベストを大幅に更新しており、大舞台で力を発揮してくれた。東大戦では自己ベスト更新と専門外の選手には負けない意地を見せたい。

女子 4×100mR

川崎 仁美 (4)
小野 萌子 (3)
林 玲美 (3)
後藤 加奈 (2)
中野 水貴 (1)
花房 柚衣香 (1)

オーダーは川崎-小野-後藤-林を予定している。個人で勝ち越しが難しい種目が多い女子の総合優勝にはリレーでの勝ちが必須となってくるので、短距離女子の一番の勝負所と言える。

<ハードル>

110mH

田中 伸幸 (4) 15.15
福島 理 (3) 15.30
小野 貴裕 (2) 15.03

男子 110mH には田中伸、福島、小野貴の3名が出場する。去年京大が唯一スコנקしたこの種目、今年目標は大会記録 14.92 の更新を含むスコנקである。東大の1番手は 15.9 の賣田(4)であり、京大がかなり優位である。

田中伸は競技力は間違いなく伸びているが、試合で力を発揮できず苦しいシーズン

が続いてきた。最近練習での安定感も増してきているので、盤石の展開で2連覇はもちろん、大会記録や悲願の蒼穹記録14.67の更新まで期待したい。

福島は最近の練習では調子が上がらず不安もあるが、直近の同志社戦ではセカンドベストの15.34をマークしており、試合にピーキングを合わせる能力は高い。持ち前のフィジカルから成る安定感を武器にして田中伸、小野貴に食らいつきたい。

小野貴は先日の七大戦で自己ベストをマークし、近国でも100mで向かい風の中11.00で走り、実力・調子ともに上向いている。練習では多少のムラがあるが試合では合わせる選手なので、田中伸と14秒台同士での優勝争いに期待したい。

400mH

広兼 浩二郎 (4) 54.65
五十嵐 隆皓 (3) 55.61
長谷川 隼 (1) 55.57

男子400mHには広兼、五十嵐、長谷川隼が出場する。この種目の目標はスコンクである。東大の戦力は怪我で約2年離脱していたPB53.40の兄井(4)と56秒前半2名であり、京大優位だが両校の力は拮抗している。

広兼は怪我によるブランクを乗り越え、先日の七大戦ではSBである54秒台をマークして見せた。東大戦ではPBとなる53秒台を目安の1つにして、優勝と来季に繋がる関西ICのA標準を達成してほしい。五十嵐は先日の七大戦でPBをマークし、練習の一環で行ったタイムトライアルでも55.7で走っており実力・調子ともに上向い

ている。お互いに実力が拮抗しており、心身ともに緊迫したレースとなるが、器用さとタフさを兼ね備えた混成選手ならではの底力に期待する。

長谷川隼は最近調子を落としているが、先日のメンバー選考では勝負強さを発揮して正選手の枠を勝ち取った。1回生ながら連戦の中の試合を除けばPBを連発しており、本来調子は良いはずなので、しっかりと東大戦の1本に集中して更なるPB更新に期待する。

< 中距離 >

800m

田中 達也 (3) 1.58.21
土屋 維智彦 (2) 1.54.94
木村 佑 (1) 1.52.88

男子800mには以上の選手が出場する。

木村は関カレ以来不調に苦しんでいるが、今レースの相手は格下の選手ばかり。最低でも一位を死守して欲しい。

土屋は怪我を抱えながらも今夏は良い練習が積めており、自信を高めている。木村とのワンツーフイニッシュを目指す。

三番手の枠を勝ち取ったのは田中。東大の三番手に勝つ実力は確実にある。しっかりと5位以上を取ってきて欲しい。

1500m

土田 侑秀 (3) 4.01.26
清原 陸 (1) 3.57.55
木村 佑 (1) 4.03.89

男子1500mには以上の選手が出場する。

土田は関カレで 4.01 を記録したが、その頃と比べても質の高い練習ができており、十分に三分台を出す実力はある。近藤に勝つのは厳しいかもしれないが東大の二番手に競り勝って欲しい。

清原は中距離パートの中で今最も伸び盛りの選手である。ラストスパートにも自信があり、二着を取ることはできると思うが、近藤にどこまで迫れるかが見物。今の実力で近藤にどこまで食らいついていけるか楽しみである。

木村は二種目エントリー。当日走るかどうかは未定だが、他 2 名と実力は遜色ない。持ち前のラストスパートで会場を湧かせてほしい。



今シーズン大きく成長した土田。さらなる進化を見せてほしい。

女子 800m

岸本 絵理 (4) 2.17.07
川崎 仁美 (4) 2.27.09

女子 800m には以上の選手が出場する。

岸本は七大戦前からの故障が長引いており、東大戦に向けて思う様に練習ができていないなかであるが、バイクを活用するなどできることを地道にこなしてきた。走れる状態までは回復しているので、自信を持って走って欲しい。東大の高石にどこまで食らいついていけるか。

川崎は専門種目ではないがエントリー。記録会で初めてながら 2.27 を記録するなど今種目に十分に対応できていると思うので、東大の二番手に勝つことだけ考えて走って欲しい。

<長距離>

5000m

尾崎 拓 (4) 14.53.00
柴田 裕平 (4) 14.27.45
原田 麟太郎 (2) 15.21.37

この種目には尾崎、柴田、原田が出場する。東大には絶対的エースの近藤がおり勝つのは簡単ではないが、尾崎柴田のコンビでなんとか一泡吹かせたい。2 人とも状態は万全ではないが、最終学年としても京大の意地を見せるうえでも奮闘を期待したい。それに続くのは東大阿部が予想され、原田はその次の争いの可能性が高い。この舞台で勝負を制する成長した姿を見せてほしい。

女子 3000m

岡本 萌巴美 (4) 10.29.52
岸本 絵理 (4) NM

岡本、岸本の4回生2人が出場する。東大には七大戦で800mと合わせて2冠した高石がおり、苦戦が予想される。

岡本は去年この種目同じメンバーで優勝しており、状態をしっかりと合わせることでできれば連覇も見えてくる。

岸本は800mに続いて2種目目となるが、今季から始めた1500mでも4分39で走っており、後半の我慢さえできれば優勝争いには申し分ない力を持っている。

2人とも幹部学年としてチームを引っ張ってきて最後のレースとなる。リレー前のこの種目で今までの4年間の思いを全てぶつけ、総合優勝になんとしても近づきたい。

5000mW

山西 利和 (4) 20.20.05

高野 圭太 (3) 21.37.17

大本 康平 (4) 22.13.84

5000mWはスコルクを狙う。昨年は東大に勝ち越されたこの種目。今年は3回生の高野が力をつけ、七大戦でも3位に入っている。まずは山西、高野を中心にしっかりと上位を固め、そのうえで3番手が3位争いに勝ち切りたい。実力は付いてきているので、本番に力を出し、東大を圧倒する。



ユニバーシアード、全カレと連戦連勝した山西。最後の東大戦でも力強い歩きを期待したい。

< 跳躍 >

走高跳

竹田 風馬 (4) 1m95

五十嵐 隆皓 (3) 1m85

吉川 樹 (1) 91m89

走高跳には竹田、五十嵐、吉川の三人が出場する。

竹田は安定感のある跳躍が持ち味だが、ここでもまずはベストを跳んでから、優勝を狙って行ってほしい。

五十嵐、吉川は多種目出場となり厳しい戦いとなることが予想されるが、しっかりとベスト付近の記録を跳んできてほしい。

棒高跳

- 珍坂 涼太 (4) 4m30
五十嵐 隆皓 (3) 3m60
平島 敬也 (2) 3m80

棒高跳には珍坂、五十嵐、平島が出場する。

珍坂は最近の試合で 4m50 近く浮いている跳躍もあったため、確実に 2 位をとってベストを出してほしい。

五十嵐は最近はなかなか棒高跳の練習をできていないが、東大の 3 番手には勝ち切してほしい。

平島は調子も良く、扱えるポールの硬さも上がってきているため、4m を跳んでなんとか 3 位に食い込んでほしい。

走幅跳

- 澤 薫 (4) 6m80
本居 和弘 (2) 6m91
南井 航太 (2) 6m56

走幅跳には澤、本居、南井の三人が出場する。

澤は今夏、短距離で鍛えたスピードを活かした跳躍で優勝を狙って行きたい。

本居は腰の怪我でしばらく練習ができておらず、不安が残るが、なんとか東大の 2 番手には勝ち切してほしい。

南井は今年、着実に記録を伸ばしてきている。ここでもベストを出してブレイクスルーを起こしてほしい。ランキングでは 3,5,6 位となっているが、2,3,5 位は十分に狙えるだろう。



勝負強さに定評がある本居。ランキングをひっくり返して跳躍パートの意地を見せたい。

三段跳

- 伊東 悠希 (3) 14m29
三神 惇志 (2) 14m63
吉川 樹 (1) NM

男子三段跳には伊東、三神、吉川が出場する。

伊東は怪我から復帰後、練習を積めているようなので、14m 後半の跳躍を期待する。

三神は 15m を跳ぶポテンシャルは十分にある。いかにファールを抑えて、良い跳躍の記録を残すかが鍵となるだろう。

吉川は大学初の三段跳になるが、立ち五段跳びなどでは他を寄せ付けない実力を持っているのでビッグジャンプを期待したい。

女子走幅跳

- 川崎 仁美 (4) NM

林 玲美 (3) 4m71

女子走幅跳には川崎、林の2名が出場する。

川崎はポテンシャルが高く、スピードもあるため、大ジャンプが期待できる。5m前後を目指して頑張してほしい。

林は走高跳で培ったジャンプ力を活かして5m越えの跳躍を見せてほしい。

< 投擲 >

砲丸投

金子 溪人 (4) 10m23

浅野 智司 (4) 9m59

松井 そら (2) 9m43

男子砲丸投には金子、浅野、松井が出場する。東大は11m33,11m21,10m97の持ち記録の3選手の出場が予想されるが、去年もランキング4,5,6位から2,4,6位になったように、今年も意地を見せる。

金子は最も砲丸投に取り組んできている選手であり、10m台での安定感はある。ここでブレイクスルーを起こして順位を上げていきたい。

浅野は最後の砲丸投の試合となるこの東大戦のために、遂に砲丸投のための練習を開始した。主将の意地と本気の投擲に期待していただきたい。金子と浅野が11mを目指すなかで、できる限りの得点を稼いでいく。

松井は七大戦同様、攻めの投擲で大幅な自己新を狙う。ポテンシャルは高い選手であり、10m中盤を投げられれば東大の選手から得点を奪える可能性もあるだろう。

円盤投

大橋 悟 (2) 40m74

金子 溪人 (4) 34m48

平島 敬也 (2) 32m26

男子円盤投には金子、大橋、平島が出場する。

大橋は他を寄せ付けず優勝するだろう。夏頃は右肩の状態に不安があったが、徐々に思い切りの良い投げが戻ってきており、今季の目標に据えている42m85の蒼穹記録の更新も目指す。

金子は東大の佐竹、土井を確実に抑えて2位を確保したい。36m以上を投げる実力は十分に持ち、勝負を楽しみながら4回生最後の対校戦で競り勝つ試合を見せてほしい。

平島は勝負強さを見せた七大戦の頃からもまた成長を遂げている。無条件に6投できるので大きく外す心配もない。七大戦同様に一発を見せれば佐竹や土井とも十分勝負できるだろう。東大勢もホームの駒場では一発を持つ選手が多く、記録は読みづらいが、あわよくばスコルクも狙える布陣で大きく勝ち越したい。

ハンマー投

浅野 智司 (4) 43m96

大橋 悟 (2) 37m06

三谷 圭 (2) 31m29

男子ハンマー投には浅野、大橋、三谷が出場する。東大は1番手の持ち記録が31m89であり、狙うはスコルク勝ちのみである。

浅野は確実に優勝できる立場であり、内

容に拘って試合をしたい。グラウンドの規格の関係で記録は非公認とはなるが、大会記録 47m82 の更新を目指す。

七大戦で 37m06 の大ベストを記録した大橋は、大崩れする心配はないだろう。確実に東大の 3 選手を抑えられる安定感があり、きっちりと仕事を果たしてくれる。

今夏はあと一步の悔しい試合が続いた三谷だが、夏の練習でターンの安定感が増した。最近の練習では当たり前のように 35m は投げ、関西 IC の B 標準 39m も射程圏内の実力となっている。好敵手である大橋と三谷による白熱した 2 位争いにも注目していただきたい。

やり投

浅野 智司 (4) 55m66

中山 奎吾 (3) 58m40

松井 そら (2) 48m36

男子やり投には浅野、中山、松井が出場する。

中山、浅野は 1,2 位を占めるのは当然として、満足できるような記録を残したい。来シーズンを考えても、ここで記録を残しておけば大きなアドバンテージとなる。2 人とも肘の故障が長く尾を引いてしまっているが、1 投目でどんな投擲をできるか、記録が望める試合にできるかが重要になるだろう。

松井は夏に負った膝の故障から驚異的な回復を見せた。東大の 1 番手 2 番手とは 50m 近辺で実力が拮抗しており、この争いを制することができるかで得点は大きく変わってくる。3 位争いを制してスコルク勝

ちとなる目安は 52m あたりで、十分に投げられる実力はある。昨年の東大戦でも見せた抜群の勝負強さをここでも発揮したい。

女子砲丸投

横山 優花 (3) 10m62

中野 水貴 (1) 8m41

女子砲丸投には 2 人の蒼穹記録製造機、横山と中野が出場する。スコルク勝ちが絶対に必要な種目ではあるが、東大には投擲を専門とする選手はおらず、間違いなく可能な状況である。

横山は夏以降、いつでも 11m は出しうる状態になっている。自己記録だけでなく大会記録の 10m72 や、関西 IC の A 標準 10m80 など、記録も意識して優勝してほしい。

中野は専門種目であるやり投でもベストが狙える状態に戻ってきており、砲丸投でも期待が持てる。来年以降の対校戦に向けても、果敢に 9m 以上も狙って自己記録を更新してほしい。

4. 近国結果

第55回近畿地区国立大学体育大会陸上競技

(2017/8/10 服部緑地)

総合成績

男子の部

1位	大阪大	155点
2位	京都教育大	125.5点
3位	大阪教育大	118.5点
5位	京都大	87.5点

・男子の部

▼100m

安藤 滉一	予	10.93	-0.5	
	決	11.01	-0.4	4位
小野 貴裕	予	11.00	-1.1	
	決	11.10	-0.4	7位
加藤 寿昂	予	11.15	-0.7	

▼200m

安藤 滉一	予	22.78	-0.2	
	決	21.93	-0.6	3位
岡本 和也	予	22.80	+1.4	
西脇 友哉	予	23.72	-0.8	

▼400m

庄司 真	予	50.49		
	決	50.70		6位
水野 廉也	予	51.41		
田中 智也	予	51.42		

▼800m

田中 達也	予	1.59.31	
岡本 郁翔	予	2.01.96	
宮崎 奨之	予	2.04.02	

▼1500m

岡野 颯斗	予	4.14.77	
	決	4.05.79	1位
小柴 鷹介	予	4.19.55	
	決	4.12.48	6位

▼5000m

下迫田 啓太	15.37.89	1位
松葉 悠剛	15.48.04	3位

女子の部

1位	京都教育大	157点
2位	神戸大	75.5点
3位	大阪教育大	68.5点
4位	京都大	53点

谷川 尚希 17.19.87

▼110mH

田中 伸幸	予	15.58	-2.8	
	決	15.43	-0.5	5位
福島 理	予	16.42	-1.5	

▼400mH

平野 亘	予	56.08
長谷川 隼	予	57.52
平田 泰行	予	58.54

▼3000mSC

稲垣 達也	9.39.79	5位
渡邊 康介	9.47.17	7位 PB
潮崎 羽	10.32.18	

▼スウェーデンリレー

加藤-岡本-小谷-小原	1.56.53	3位
-------------	---------	----

▼走高跳

竹田 風馬	1.90	6位
五十嵐 隆皓	1.85	8位

▼棒高跳

平島 敬也	3.80	8位
小野坂 健	3.60	
増尾 浩旗	NM	

▼走幅跳

南井 航太	6.56	+1.3	7位 PB
本居 和弘	6.34	+0.8	

▼三段跳

扇澤 剛志	12.54	+0.4
-------	-------	------

▼砲丸投

金子 溪人	9.94	7位
-------	------	----

▼ハンマー投

若園 直樹 47.30 2位
浅野 智司 39.49 6位
三谷 圭 30.83 7位

横山 優花 29.89 8位 PB

▼円盤投

大橋 悟 33.26 4位
金子 溪人 NM

▼やり投

若園 直樹 54.89 4位
藤田 歩 38.09 PB

・女子の部

▼100m

宮崎 伶菜 予 14.27 -0.7
花房 柚衣香 予 14.35 -0.9

▼200m

小野 萌子 予 27.54 -1.8
後藤 加奈 予 27.78 -1.9

▼400m

後藤 加奈 予 60.95
決 62.05 4位
小野 萌子 予 62.38

▼1500m

岡本 萌巴美 決 4.51.94 3位 PB

▼110mH

花房 柚衣香 予 18.73 -0.7

▼4×100mR

花房-小野-後藤-川崎 52.04 6位

▼走高跳

林 玲美 1.66 1位

▼走幅跳

宮崎 伶菜 4.86 +0.3 8位
林 玲美 4.71 +0.3

▼砲丸投

横山 優花 10.50 2位
中野 水貴 8.41 7位 PB
福井 優輝 7.84

▼円盤投

横山 優花 37.59 1位
福井 優輝 23.48
川崎 仁美 18.72

▼やり投

中野 水貴 41.85 2位

5. 同志社戦結果

第 87 回同志社大学対京都大学陸上競技大会

(2017/8/12 山城総合運動公園陸上競技場)

総合成績

同志社大学 80 点

京都大学 23 点

▼100m (+1.2)	長谷川 隼	56.10	4 位	
安藤 滉一	10.92	4 位		
加藤 寿昂	10.95	5 位	PB	
岡本 和也	11.27	6 位		
▼200m (-2.2)	平野 亘	57.43	5 位	CB
安藤 滉一	21.69	3 位		
岡本 和也	22.37	5 位		
梶原 隆真	22.63	6 位		
▼400m	平田 泰行	57.50	6 位	
小谷 哲	49.12	4 位		
浅井 良	49.84	5 位		
小原 幹太	50.69	6 位		
▼800m	▼4×100mR			
木村 佑	1.56.08	2 位		
土屋 維智彦	1.56.95	4 位		
田中 達也	2.02.66	6 位		
▼1500m	安藤-石田-土屋-澤	DQ		
清原 陸	4.08.90	1 位		
土田 侑秀	4.09.48	2 位		
小柴 鷹介	4.12.04	4 位		
▼5000m	▼4×400mR			
原田 麟太郎	15.39.59	3 位		
谷口 博紀	15.46.62	4 位		
川井 拓哉	15.54.81	5 位		
▼110mH (+1.3)	小谷-浅井-安藤-小原	3.16.02	2 位	大会新
小野 貴裕	15.08	3 位		
福島 理	15.38	4 位		
黒瀬 慶	16.18	5 位		
▼400mH	▼走高跳			
	竹田 風馬	1.90	3 位	
	五十嵐 隆皓	1.85	4 位	
	吉川 樹	1.85	5 位	
	▼棒高跳			
	珍坂 涼太	4.20	3 位	
	平島 敬也	3.60	4 位	
	五十嵐 隆皓	3.40	5 位	
	▼走幅跳			
	小野 貴裕	6.53 +2.4	3 位	
	南井 航太	6.30 +2.4	5 位	
	▼三段跳			
	三神 惇志	14.40 +1.3	2 位	
	五十嵐 隆皓	12.86 +2.9	5 位	
	▼砲丸投			
	金子 湊人	9.88	4 位	
	平島 敬也	8.94	5 位	PB
	▼ハンマー投			
	浅野 智司	42.27	1 位	
	大橋 悟	32.94	2 位	
	三谷 圭	30.12	4 位	
	▼円盤投			
	大橋 悟	37.93	2 位	
	金子 湊人	34.48	5 位	PB

▼やり投

中山	奎吾	57.33	4位	
藤田	歩	40.25	5位	PB
平島	敬也	38.99	6位	

6. 記録会等の結果

(2017/7/22~2017/9/14)

第3回大阪体育大学競技会(大体大 7/22)

▼円盤投

横山 優花 36.24

▼砲丸投

横山 優花 10.62 PB

福井 優輝 8.59 PB

中野 水貴 8.21 大学初

平成29年度第4回京都産業大学長距離競技会(京産大 7/22)

▼1500m

小柴 鷹介 4.05.80 PB

長谷川 大智 4.18.69

平成29年度第1回学連競技会(ヤンマーフィールド長居 8/5,6)

男子

▼100m

土屋 佑太 10.78 -1.5 PB

安藤 滉一 10.96 +1.2

庄司 真 11.09 +2.2

▼200m

土屋 佑太 21.45 +0.8

▼400m

庄司 真 50.44

▼800m

木村 佑 1.57.44

岡本 郁翔 2.12.46

▼1500m

岡野 颯斗 4.21.61

▼400mH

長崎 裕貴 59.02

女子

▼円盤投

横山 優花 35.31

第4回中京大学土曜競技会(中京大学梅村陸上競技場 8/5,6)

男子

▼800m

永岡 源太郎 2.09.10

▼円盤投

金子 湊人 33.68 PB

▼十種競技

五十嵐 隆皓 5617点 PB

11.94(-0.9) 6.08(+1.6) 7.84 1.83

51.29 16.50(-0.3) 21.98 3.40 38.26

4.33.22

平島 敬也 5210点

11.57(+0.6) 6.03(+0.2) 7.84 1.70

54.53 17.11(-0.3) 26.88 3.80 38.50

5.39.43

松井 そら DNF

12.04(-0.9) 6.08(+0.6) 9.43 1.65

54.65 16.88(+0.0) 29.78 2.80 NM

以降棄権

女子

▼七種競技

宮崎 伶菜 3051点

18.78(+0.3) 1.30 6.15 28.79(-0.4)

4.61(+0.7) 24.10 2.41.24

広川 知佳 2908点自身初

19.30(-0.1) 1.30 5.60 28.32(+0.0)

5.26(+0.4) 12.60 2.46.53

アキレスクラブ対抗戦(ケンブリッジ大学 8/6)

▼100m

石田 真也 10.64 +0.8

林 大祐 10.95 +2.3

紀平 直人 10.99 +0.8

▼100m 2次レース

林 大祐 10.89 +3.8

▼200m

紀平 直人 23.31 +3.3

▼400m

紀平 直人 49.45

▼1500m

足立 涼 4.34.96

▼5000m

柴田 裕平 15.04.89

▼走幅跳

石田 真也 7.26 ±0.0

渡辺 祥 7.23 ±0.0

平成 29 年度大阪府民体育大会陸上競技の
部兼第 72 回国民体育大会大阪府代表選手
最終選考会(万博記念競技場 8/11)

男子

▼100m

林 大祐 11.06 -1.4

第 50 回びわこ成蹊スポーツ大学記録会(び
わこフィールド 8/20)

男子

▼800m

飯田 駿介 2.17.81 大学初

第 74 回全日本医歯薬獣医大学対抗陸上競
技選手権大会(西京極 8/23,24)

▼走幅跳

宮崎 伶菜 4.69 ±0.0

▼100mOP

宮崎 伶菜 14.53 -1.1

第 3 回奈良市記録会(鴻ノ池 8/24)

▼800m

川崎 仁美 2.27.09 PB

第 29 回ユニバーシアード競技大会(台北
8/19~30)

▼20kmW

山西 利和 1.27.30 優勝

第 60 回東海陸上競技選手権大会(岐阜メモ
リアルセンター長良川 8/26,27)

男子

▼走幅跳

渡辺 祥 7.35 +1.2 5位

女子

▼棒高跳

宮崎 伶菜 2.60

第 61 回北陸陸上競技選手権大会(富山県総
合運動公園陸上競技場 8/26,27)

男子

▼400mH

長崎 裕貴 58.79

女子

▼走幅跳

広川 知佳 5.21 +1.8

第 5 回強化・普及記録会(鴻ノ池 9/2)

▼400m

水野 廉也 52.00

第 85 回近畿陸上競技選手権大会(三木防災
公園 9/2,3)

▼ハンマー投

浅野 智司 40.02

第 37 回宇治市陸上競技選手権大会(太陽が丘 9/3)

▼100m

坂口 雄太 11.65 +1.4
数多 伸紀 12.13 +0.4

▼400m

眞杉 陸 予 50.89
決 50.85 2位

第 5 回尼崎中長距離記録会 (ベイコム 9/8)

▼3000m

岡本 和晃 9.06.26

▼5000m

岡本 和晃 15.45.44

天皇賜杯第 86 回日本学生陸上競技対校選手権大会(福井運動公園 9/8,9,10)

男子

▼100m

石田 真也 予 10.33 +3.1
準 10.40 +2.8

▼10000mW

山西 利和 40.22.28 優勝
高野 圭太 44.30.15

▼4×100mR

安藤-石田-土屋-澤 40.80

▼走幅跳

石田 真也 7.59 +4.0
渡辺 祥 7.39 +1.9

女子

▼10000mW

高野 寛子 53.16.16

2017 関西学生新人陸上競技選手権大会兼
ディムライトリレーズ(ヤンマーフィールド長居 9/13,14)

男子

▼100m

加藤 寿昂 11.30 -0.3

▼400m

浅井 良 予 49.30 CB
準 49.44

小谷 哲 予 49.37
準 49.49

小原 幹太 予 50.32

浅井 良 49.44

小谷 哲 49.49

▼800m

木村 佑 予 1.58.59
準 1.57.19

岡本 郁翔 予 2.02.00
準 1.57.19

▼1500m

清原 陸 予 4.05.95
決 4.02.20 2位

木村 佑 予 4.09.28

平中 章貴 予 4.12.66 PB

▼110mH

吉川 広祐 15.84 +1.3 CB

▼400mH

長谷川 隼 57.00

女子

▼400m

後藤 加奈 61.91

▼4×100mR

中野-小野-後藤-川崎 52.51

▼走幅跳

広川 知佳 5.35 +0.2

▼やり投

中野 水貴 39.23



蒼穹ニュース 平成29年度 第5号

平成29年9月24日発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部

編集者：潮崎羽・水野廉也・三谷圭（副務）

特別協力：秋本啓太・三田村侑紀・山内美佳（学連員）

大前晃一・糠谷充孝（記録係）・土田侑秀（HP 係）

写真担当：土屋維智彦・広川知佳・福井優輝

陸上競技部 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/>

陸上競技部記録 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku/index.htm>

関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>

メールアドレス onyourmarks.136@gmail.com（水野）